

## 社会福祉法人つきかけ福祉会 芹沼保育園

園児数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
175名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 (○) 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 (○) 体づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の資質向上のための取組

### 1 ねらい

体育活動に対する興味関心を高める、運動感覚回路の強化、活性化、心身の健全な発達を図る、脳への豊かな刺激を与え脳幹も鍛えることをねらいに、毎日跳び箱や縄跳びを取り入れた運動、ラジオ体操等の体育ローテーションを行っている。

### 2 実施内容

一年を通してボール遊び、マット運動、縄跳び、跳び箱、平均台、ランニング、ラジオ体操、ミッキーマウス体操を月曜日から金曜日の午前9時30分～10時に実施している。

夏はプールを設置し保育園児全員が水の体験をする、秋は運動会を開催し年少児、年中児、年長児が参加、遊戯をはじめ、徒競走の他、年少児は椅子体操、年中児はパラバルーン演技、年長児は組体操を行っている。

冬は年長児のスケート教室を開催して、滑り方の基本を学ぶ。

### 3 主な成果

- ・体育ローテーションの成果は大きな流れに同化しながら、楽しく参加しその中で仲間との連帯感を高め、精神的な活力を高揚させている、また一日のリズム、テンポを作る、先生と園児が協力して準備や片付けをすることで、体育器具を大切にすること、みんなで協力するなど運動以外にも学ぶことがあった。
- ・園庭の固定遊具の滑り台は階段を昇ることで足を鍛える、うんていや鉄棒は腕を中心とした基礎的な体力を養った。
- ・プールは3つの特性「浮力」「水圧」「水の抵抗」を活用し水になれることができた。
- ・運動会の年少児椅子体操は椅子を使って体感を鍛えることができ、年中児のパラバルーン演技は音楽に合わせて気持ちと動きを一つにすることで、互いの気持ちを思いやり、集団活動の楽しみを学ぶきっかけができた。年長児の組体操は友達と協力する事で力を出し切り、心身を鍛える、きっちり揃えて行うことができた。
- ・スケート教室は氷の面白さを知り、氷の上で転ばないように足を踏ん張ったり、転んでも上手に手を出したりと氷の上での遊び方と滑り方を学んだ。

#### 4 資料



1歳児～年長児のラジオ体操、ミッキーマウス体操



年少児の椅子体操



年中児のパラバルーン演技



毎日の体育ローテーション(年少児～年長児)



年長児の組体操